

第86期(中間期)

株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日



株主の皆様へ P1

事業概況 P2

特集: 持続的成長に向けた取り組み P5

TOPICS P7

連結財務諸表 P9

会社の概要／株式の状況 P10

長期経営ビジョン

～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する
価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

“人”のツムラ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA

株式会社ツムラ

証券コード：4540

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第86期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

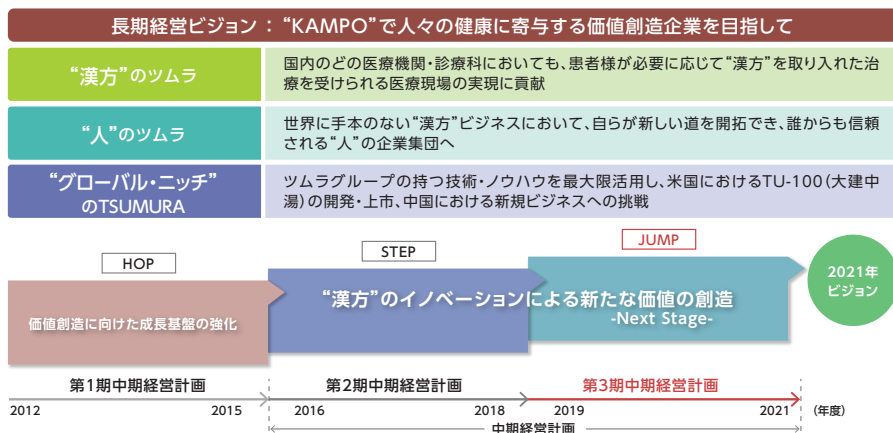
当社グループが、基本理念(経営理念・企業使命)のもと、2012年に策定した「長期経営ビジョン(2021年ビジョン)」は、2019年度をスタートとした「第3期中期経営計画“漢方”のイノベーションによる新たな価値の創造-Next Stage-」の最終年度となります。

国内においては、漢方市場の持続的な拡大のため「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」を重点3領域と位置づけて活動しております。中国においては、中国国民の健康に貢献することおよび原料生薬の安定調達・供給を目的とし、事業基盤の構築に向けた積極的な投資を検討・実施しております。

当社グループは、次の10年に向けた「長期経営ビジョン2031」、30年先を見据えた「サステナビリティ・ビジョン2050」の策定に取り組んでおります。当社グループの事業は、原料生薬の栽培からはじまる“漢方バリューチェーン”によって構成され、自然環境と深い関わりがあります。事業の根幹を成す自然に向き合い、「自然環境の変化や危機に最も敏感な企業」であり続けるとともに、生薬はもとより、水・空気に至るまですべて自然に戻す循環を追究してまいります。刻々と変化する外部・内部環境に機動的に対応しながら、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けた戦略課題を掲げ、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 CEO 加藤 照和



経営方針

当社グループは、追いつめていくべき不変の基本的価値観である「自然と健康を科学する」という経営理念と、社会から必要とされ存在し続ける目的である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を基本的な理念と位置づけ、理念に基づく経営を実践すべく、諸施策に取り組んでいます。

業績の概要

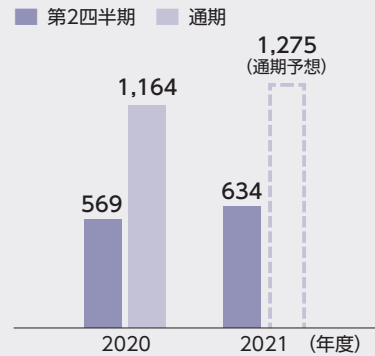
● 連結業績

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ11.4%増加し、63,416百万円となりました。そのうち、国内の売上高は、58,829百万円となりました。当社グループの医療用漢方製剤の販売状況は、医療ニーズに応じた情報提供活動を推進し、精神疾患や皮膚疾患等の処方が増え、加えて、めまいに対する処方でも伸びました。海外の売上高は、4,587百万円となりました。平安津村薬業有限公司、深圳津村薬業有限公司を中心とした生薬プラットフォームにおいて、原料生薬と飲片(刻み生薬)等の販売が増えました。

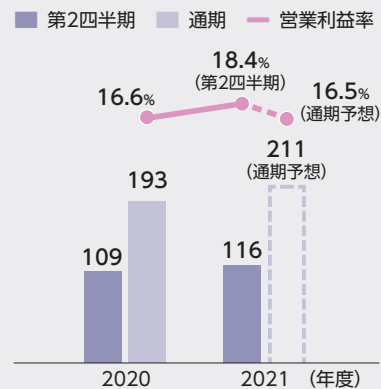
売上原価は、売上高の伸びにより前年同期と比べ14.5%増加し、30,721百万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ9.4%増加し、21,011百万円となりました。主にe-プロモーションに伴う活動経費等の増加によるものです。

以上の結果、営業利益は、前年同期と比べ7.0%増加し、11,684百万円となりました。経常利益は、為替差益の影響により、前年同期と比べ22.9%増加し、13,409百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ24.5%増加し、9,965百万円となりました。

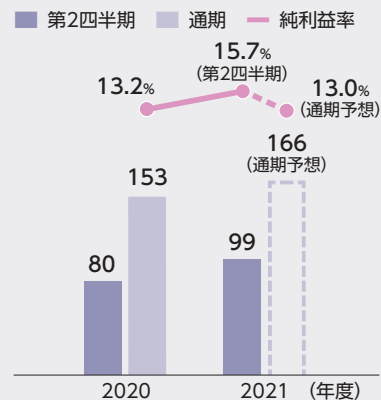
売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(億円)



(注)2020年度数値は、PPA調整・収益認識基準適用後の金額に組み替えております。

医療用漢方製剤の概況

医療用漢方製剤の営業施策としては、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」を重点3領域として活動を集中させてきました。従来からの育薬処方*1と、それに続く戦略処方であるGrowing処方*2を中心に、重点領域において多くの患者様の健康に貢献できるよう、医療関係者の多様なニーズに対応し、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドライン、漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しています。

■ 医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

順位	処方番号	処方名	前第2四半期 (2020年度)	当第2四半期 (2021年度)	増減額	前年同期比
1	100	ダイケンチュウトウ 大建中湯	4,663	4,790	126	2.7%
2	41	ホチュウエッキトウ 補中益気湯	3,543	3,741	197	5.6%
3	54	ヨクカンサン 抑肝散	3,542	3,720	177	5.0%
4	43	リックンシトウ 六君子湯	3,360	3,557	196	5.8%
5	17	ゴレイサン 五苓散	2,249	2,680	430	19.2%
6	68	シャクヤクカンゾウトウ 芍薬甘草湯	2,310	2,426	115	5.0%
7	24	カミショウヨウサン 加味逍遙散	2,150	2,415	264	12.3%
8	107	ゴシャジンキガン 牛車腎気丸	1,610	1,736	126	7.8%
9	114	サイレイトウ 柴苓湯	1,585	1,686	100	6.4%
10	29	バクモンドウトウ 麦門冬湯	1,468	1,531	62	4.3%
育薬処方合計			13,810	14,482	671	4.9%
Growing処方合計			11,722	12,794	1,071	9.1%
医療用漢方製剤129処方合計			52,343	56,377	4,033	7.7%

*1 育薬処方：大建中湯・抑肝散・六君子湯・牛車腎気丸・半夏瀉心湯
近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立する処方

*2 Growing処方：補中益気湯・芍薬甘草湯・麦門冬湯・加味逍遙散・五苓散
育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン掲載を目指す成長処方

第3期中期経営計画の概要

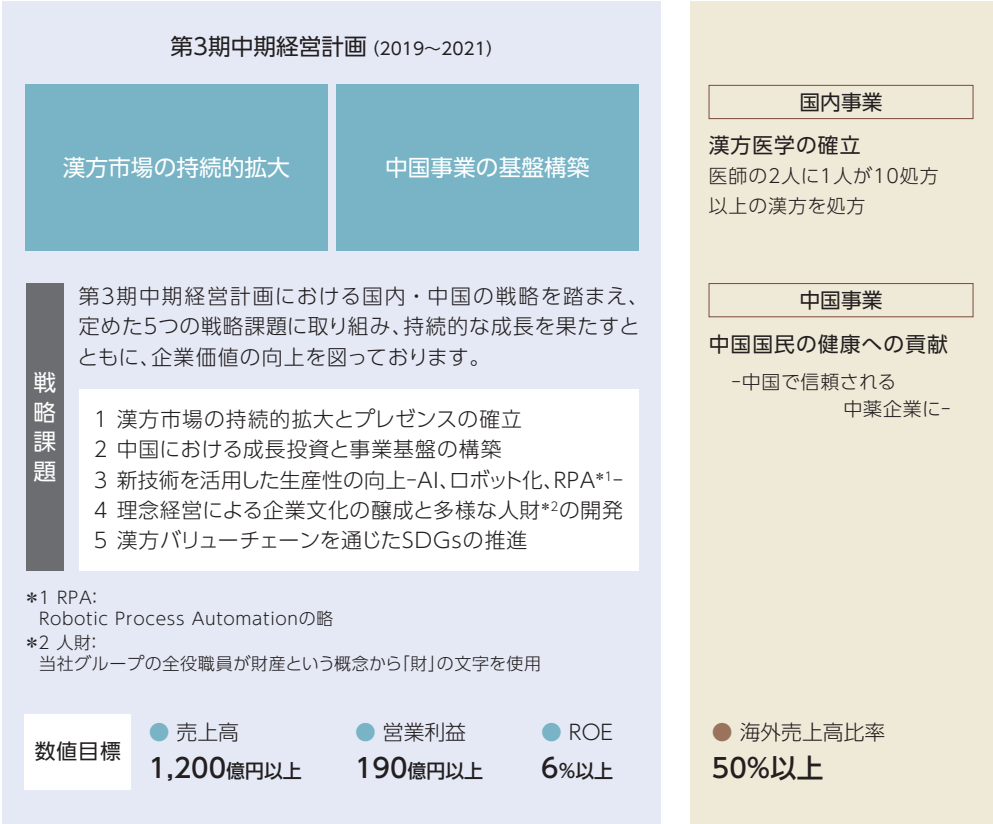
長期経営ビジョン達成のため、国内事業では「漢方医学の確立」に取り組み、中国事業においては、刻み生薬（飲片）をはじめとした、さまざまな製品の開発・提供による、「中国国民の健康への貢献」を実現していきます。

長期的な将来を見据え、“漢方”のイノベーションによる新たな価値の創造に取り組み、人々の健康に寄与すると同時に、長期利益の最大化を実現すべく、第3期中期経営計画に取り組んでいます。

長期経営ビジョン実現へのロードマップ



“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業へ



特集：持続的成長に向けた取り組み

PickUP 1 重点3領域における活動

超高齢社会における健康寿命の延伸や認知症対策、がん対策といった国の医療政策に加え、女性の職業生活における活躍推進といった社会的背景に基づき、漢方市場の持続的な拡大のための重点施策として、「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」を重点3領域と位置づけています。現状において治療満足度が低い疾患に対する医療ニーズ等を重点課題として取り組んでいます。具体的にはBPSD*¹、フレイル*²、がん支持療法、女性のライフステージに対応した処方の売上拡大を目指しています。

高齢者関連領域

精神・神経疾患
育 抑肝散
+ 関連処方

消化器疾患
育 六君子湯
育 大建中湯
G 補中益気湯
+ 関連処方

呼吸器疾患
G 麦門冬湯
+ 関連処方

循環器疾患における
周辺症状
G 五苓散
+ 関連処方

フレイルにともなう
諸症状
育 牛車腎気丸
G 補中益気湯
+ 関連処方

がん領域（支持療法）

副作用の軽減など
育 六君子湯
育 半夏瀉心湯
育 牛車腎気丸
+ 関連処方

女性関連領域

婦人科疾患
G 加味逍遙散
+ 関連処方

その他の疾患・症状など
育 大建中湯
G 五苓散
+ 関連処方

*1 BPSD : Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia (興奮、焦燥感、睡眠障害など認知症の行動・心理症状)

*2 フレイル : 加齢とともに、心身の活力が低下してきた状態

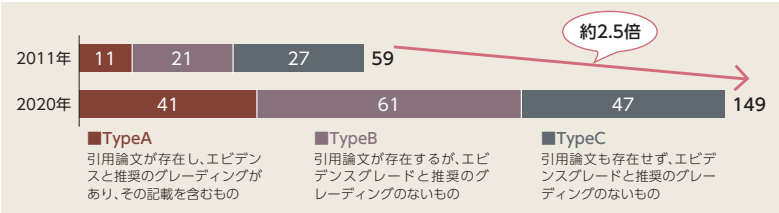
育 : 育薬処方
G : Growing処方

PickUP 2 診療ガイドラインと漢方薬

研究活動は、漢方製剤のエビデンス構築にリソースを集中させています。近年その有効性や作用機序等の解明が進んでいます。日本東洋医学会と日本漢方生薬製剤協会の調査によると、診療ガイドラインへの医療用漢方製剤の掲載数は、2011年の59件から2020年には149件と、この10年間で約2.5倍に増加しています。

育薬処方の一つである六君子湯は、『機能性消化管疾患診療ガイドライン2021-機能性ディスペプシア (FD) 改訂第2版』において、エビデンスレベルA、治療薬として有用であると推奨されました。

漢方薬の科学的解明が進むにつれ、これからますます医療の現場で使われる機会が増加していくことが期待されています。





Co-COO (中国総代表)
戸田 光胤

Q: 中国事業を展開するうえでの競争優位性と課題を教えてください。

中国の伝統医学(中薬)の一つである古典処方*に、当社グループが漢方製剤で長年培ってきた製造技術や品質管理・分析技術等のノウハウや基礎、臨床エビデンスを活用できることが最大の強みです。その強みを活かすためには、製品と販路が必要です。中成薬メーカーとのM&Aを結実させ、中成薬市場に参入することが最優先課題であり、現在、複数先と交渉を行っています。

* 古くからある中国の医学書由来の処方

Q: 今後の中国事業の展望に対する思いをお聞かせください。

当社グループがもつサプライチェーンの強みと経験を活かしながら、中薬メーカーとともに、中薬業界全体を発展させ中国国民の健康に貢献していくことを目指しています。生薬・中薬を通じて、中国国民のみならず、世界の人々の健康に貢献し、当社グループを世界に誇れる企業にするべく経営に邁進していきます。

* * * * *

Column

新型コロナウイルス感染症関連症状と漢方製剤の処方機会

新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化に伴い、精神疾患、めまい、皮膚疾患への漢方製剤の処方機会が増加しました。また、補剤といわれる病後の疲労倦怠、食欲や体力等の低下した状態に用いる処方が伸長しています。今後も医療ニーズに応じた情報提供活動を推進していきます。

精神疾患

外部環境の変化に伴う
精神不安や不眠

めまい

心身の不調による
めまい

皮膚疾患

マスク着用に伴う
にきびや皮膚炎

補 剤

病後の疲労倦怠、食欲や体力等の
低下した状態に用いる処方群

漢方や医療、健康に関するさまざまな情報を提供

一般の方に向けたフォーラム・イベントへの協賛

当社は、社会課題である高齢者関連領域・がん領域(支持療法)・女性関連領域を中心に、一般の方に向けた医療や健康に関するフォーラムやイベントに協賛し、漢方や医療、健康に関するさまざまな情報を提供しております。

今年度は、健康応援フェスタは会場で開催し、その他のイベントはオンラインライブ配信により開催しております。すでに開催したイベント、今後開催予定のイベントは下表の通りです。



フォーラムがんと生きる

日程	開催地	主催
2021年6月27日(日)	愛知	NHK厚生文化事業団／ NHKエンタープライズ／ 読売新聞社
2021年11月7日(日)	北海道	
2022年1月30日(日)	京都	



長寿の未来フォーラム

日程	開催地	主催
2021年9月12日(日)	群馬	NHK厚生文化事業団／ NHKエンタープライズ
2022年3月6日(日)	広島	



健康応援フェスタ

日程	開催地	主催
2021年10月9日(土)	東京	NHKエデュケーショナル
2021年10月28日(木)	北海道	
2022年3月22日(火)	大阪	

女性のための漢方セミナー

日程	開催地	主催
2022年1～2月(予定)	東京	プレジデント社
2022年3月6日(日)	東京	読売エージェンシー

女性対象のコミュニケーション活動

#OneMoreChoice プロジェクトが 3度にわたり広告賞を受賞

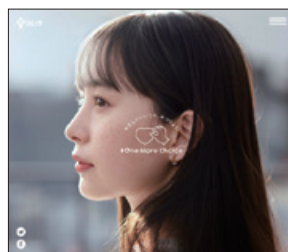
■ すべての女性が心地よく生きられる健やかな社会を

当社は、女性関連領域における中長期のコミュニケーション活動として「女性の不調に、我慢に代わる選択肢を。」というメッセージとともに、#OneMoreChoice プロジェクトを2021年3月から開始しました。このプロジェクトは、すべての女性が、心身の不調を無理に我慢することなく、いつでも心地よく生きられる健やかな社会を目指した取り組みです。

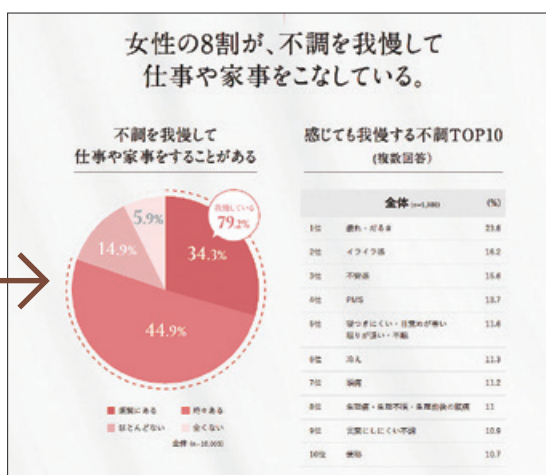
2021年10月に第2回日経ウーマンエンパワーメント広告賞「日経特別賞」を受賞した際には、この一連の取り組みに対して「声にならない課題を、解決策を含めて提案している」と評価いただきました。また、#OneMoreChoice プロジェクトの新聞広告は第69回朝日広告賞「準薬品・化粧品・トイレタリー部門賞」と、第70回日経広告賞「食品・医薬品・生活用品部門「優秀賞」も受賞しました。

活動内容は、当社ウェブサイト開設した#OneMoreChoice プロジェクトサイトをご覧ください。

<https://www.tsumura.co.jp/onemorechoice/>



トップページ



コンテンツ

■ あの人に聞いた、わたしの#OneMoreChoice ■ 隠れ我慢調査 ■ 隠れ我慢チェッカー

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	204,273	218,576	14,303
固定資産	114,789	117,304	2,514
有形固定資産	84,176	86,561	2,384
無形固定資産	11,443	12,018	575
投資その他の資産	19,170	18,724	△ 445
資産合計	319,063	335,881	16,817
負債の部			
流動負債	48,380	43,824	△ 4,556
固定負債	37,513	46,416	8,902
負債合計	85,894	90,240	4,346
純資産の部			
株主資本	212,241	219,701	7,459
その他の包括利益累計額	5,544	9,275	3,730
非支配株主持分	15,382	16,663	1,281
純資産合計	233,169	245,640	12,471
負債純資産合計	319,063	335,881	16,817

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)	増減
売上高	56,952	63,416	6,464
売上原価	26,830	30,721	3,891
売上総利益	30,122	32,695	2,573
販売費及び一般管理費	19,202	21,011	1,809
営業利益	10,920	11,684	763
営業外収益	660	1,858	1,197
営業外費用	671	133	△ 537
経常利益	10,909	13,409	2,499
特別利益	4	21	16
特別損失	13	264	250
税金等調整前四半期純利益	10,900	13,165	2,265
法人税等	3,198	3,253	55
非支配株主に帰属する 四半期純利益	△ 299	△ 54	245
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,002	9,965	1,963

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)	当第2四半期 (自 2021年4月 1 日 至 2021年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,733	11,815	1,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,539	△ 3,600	△ 1,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,206	△ 2,733	4,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 791	2,145	2,937
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195	7,627	7,431
現金及び現金同等物の期首残高	57,692	59,668	1,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,407	67,296	5,888

(注)2020年度数値は、PPA調整・収益認識基準適用後の金額に組み替えております。

会社の概要／株式の状況(2021年9月30日現在)

会社概要

本 社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創 業	1893年(明治26年)4月10日
設 立	1936年(昭和11年)4月25日
資 本 金	301.42億円
従 業 員 数	(単体)2,558名(就業人員数) (連結)3,889名(就業人員数)

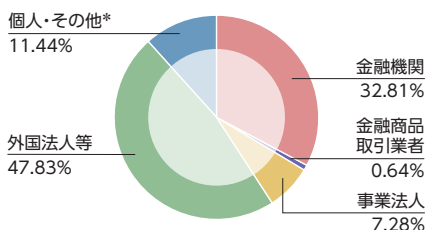
連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	製品の運送および保管
株式会社タ張ツムラ	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
津村(中国)有限公司	当社グループの中国における地域統括
深圳津村製薬有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
上海津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
天津津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
平安津村有限公司	事業統括
平村(深圳)医薬有限公司	医薬品・食品販売
平安津村製薬有限公司	事業統括
盛実百草製薬有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
白山林村中薬開発有限公司	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発
その他3社	

株式の状況

● 発行可能株式総数	250,000,000株
● 発行済株式の総数	76,758,362株 (自己株式 250,793株を含む)
● 株主数	12,649名

〈所有者別株式数分布状況〉



*「個人・その他」には、自己株式250,793株を含めています

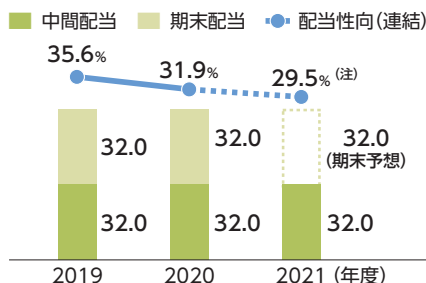
● 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,195	14.63
BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED—PING AN LIFE INSURANCE COMPANY OF CHINA, LIMITED	7,675	10.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,351	4.38
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,780	3.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	2,608	3.41
株式会社三菱UFJ銀行	2,197	2.87
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,913	2.50
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,909	2.50
ツムラグループ従業員持株会	1,758	2.30
BRIGHT RIDE LIMITED	1,692	2.21

(注)持株比率は自己株式250,793株を控除して計算しています

配当金

配当金の推移(円)



(注)2021年度期末配当金・配当性向(予想)は、第86回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

当社では、株主還元につきましては、以下の方針としています

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

株主の皆様の声をお聞かせください

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

■ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
https://www.a2media.co.jp

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード

4540



スマートフォンから



以下の方法でもアンケートにアクセスできます



検索窓から

いいかぶ



kabu@wj.m.jp

こちらへ空メールを送信

アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 (2108)
MAIL: info@e-kabunushi.com

ツムラIRウェブサイトのご案内

▼トップページ



▶「株主・投資家の皆さま」

最新のIR情報を掲載しています。

メール配信サービス

最新のIR情報をメールでお届けします。

株主優待制度

【保有年数継続3年以上】

◎入浴剤バスハープ

- ・100株以上
小(210ml)×1本
- ・1,000株以上
大(650ml)×1本



◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上
- ご応募の株主様から抽選で各40名様ご招待
(2022年度の開催は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催を見送らせていただきます)

詳細は2次元コードからアクセスしてください。



ウェブサイトのご案内

<https://www.tsumura.co.jp/>

ツムラ

検索

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

自然と健康を科学する



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL 03-6361-7101

